

福島第一原子力発電所現地確認報告書

1 確認日

令和2年1月20日（月）

2 確認箇所

- ・ 3号機使用済燃料プール(遠隔操作室から確認)
- ・ 1 / 2号機共用排気筒(1 / 2号機開閉所前から確認)

3 確認項目

- (1) 3号機使用済燃料プールからの燃料取り出し状況
- (2) 1 / 2号機共用排気筒解体工事の状況

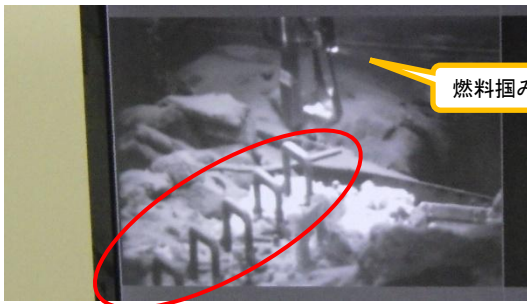
4 確認結果の概要

- (1) 3号機使用済燃料プールからの燃料取り出し状況について

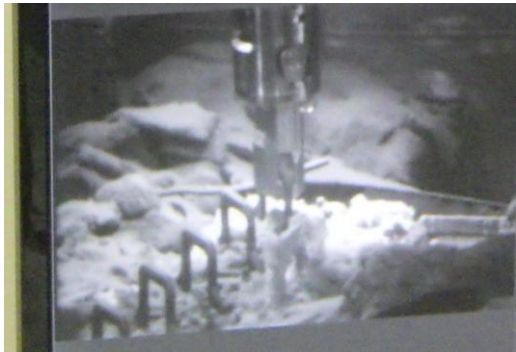
3号機使用済燃料プールに保管されている燃料(使用済燃料：514体 未使用燃料：52体 計566体)を構内用輸送容器(以下、「キャスク」という。)に収納し、使用済燃料共用プールに輸送する燃料取り出し作業については、平成31年4月15日から開始され、同日から同月25日に実施された初回の状況を確認している。

これまで7回の燃料取り出し作業が実施されているが、本日の8回目から使用済燃料の取り出しが開始され、キャスクへ収納される作業が実施されたことから、その状況を確認した。

- ・ 作業は遠隔操作で行われ、遠隔操作室モニタで作業状況を確認した。
- ・ 燃料の上にはガレキがあったが、取り出し作業の支障にはなっていなかった。
- ・ 作業は慎重に実施され、使用済燃料プールの水中でラックから取り出された使用済燃料が、特にトラブル等が生じることなくキャスクに収納された。(写真1)



(写真1-1) 燃料を燃料掴み具が把持しようとしているところ(赤丸は燃料)
(写真は全て遠隔操作室モニタを撮影)



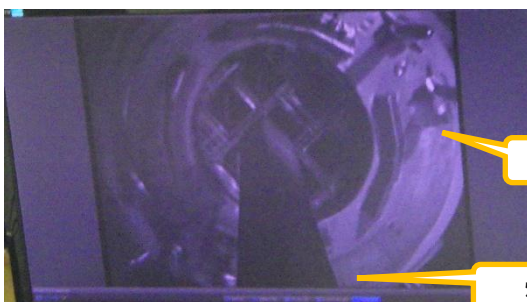
(写真1-2) 燃料掴み具が燃料を把持しているところ



(写真1-3) 同上(別角度のカメラによる)



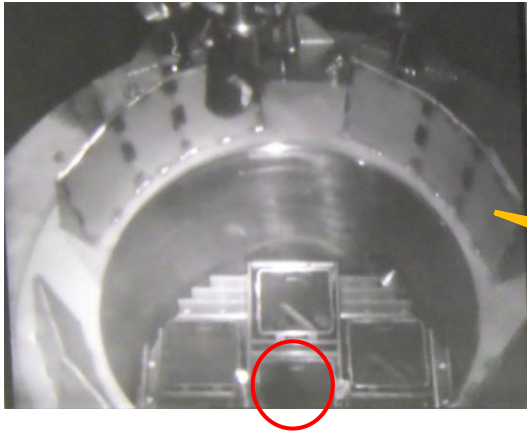
(写真1-4) 燃料をラックから引き上げているところ



(写真1-5) 燃料をキャスクに収納しているところ

キャスク

燃料

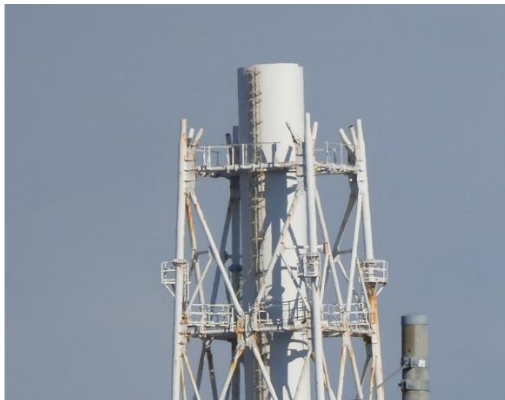


(写真1-6) 燃料収納後のキャスク
(燃料が赤丸の位置に収納された)

(2) 1 / 2 号機共用排気筒解体工事の状況について

1 / 2 号機共用排気筒解体工事は昨年 8 月 1 日から作業を実施しており、排気筒上部の約 60m を 23 ブロックに分けて解体する計画のうち、9 ブロック目の解体が 1 月 17 日に終了したことから、状況を確認した。

・筒身が切断され、9 ブロック目の解体が完了していた。(写真 2)



(写真 2) 排気筒頂部

5 プラント関連パラメータ確認

各パラメータについて、異常な値は確認されなかった。